

岩倉地区 地域づくり懇談会 議事録

- 1 日時 平成29年12月21日(木) 19:00~20:00
- 2 会場 岩倉地区公民館
- 3 出席者 地元出席者 20名
市側出席者 14名
深澤市長、羽場副市長、河井総務部長、田中中核市推進局長、乾防災調整監、田中企画推進部長、久野地域振興局長、綱田都市整備部長、植村環境下水道部長、渡邊秘書課長
＜事務局＞福島協働推進課長(司会)、宮崎協働推進課課長補佐、有本協働推進課主事、北村協働推進課主事

4 市政の課題等についての意見交換(フリートーク)

(地元意見)

本日閉会した12月定例会の一般質問の中から、市役所新庁舎建設について質問します。私は、庁舎本体の建築価格の安さに驚きました。私達は新築移転に反対でしたが、位置条例が決まった時点で、鳥取市内の建築業者に仕事を出してほしいと要望しました。それについてはある程度準じてもらえたようで、市は分離分割発注方式を採用しましたが、そもそもこの建築価格は誰が積算したのでしょうか。

コストを下げるためか、鉄骨の中に生コンを入れる工法から鉄骨と鉄筋コンクリートを使用する工法に変わりましたが、それにもしても何故こんなに安いのでしょうか。これでは、地元業者は入れません。現実には、市民交流棟については入札が不調になってしまいました。結局、本体を請け負った業者が請け負うことになったようですが、これでは地元業者を潰しにかかっているとしか思えません。

(深澤市長)

株式会社 久米設計大阪支社、株式会社 白兎設計事務所、有限会社 塚田隆建築研究所、有限会社 木下建築研究所による、久米・白兎・塚田・木下特定業務設計共同体が設計積算されたものです。我々は、適正に積算されたものと認識しています。

(地元意見)

本日閉会した12月定例会の一般質問で、審議会等の委員について、一人で複数の委員を兼任する例があるとの質問がありました。市の答弁では、一人最大5つの委員会まで兼任できるとのことでしたが、兼任している人というのは、複数の審議会等を兼任できるほどの知識や経験をお持ちなののでしょうか。私も以前に一度だけ委員を経験したことがありますが、専門知識の無い人が委員長をしていました。こんな審議会等で、開かれた市政と言えるのでしょうか。

一人で、5つもの分野について知識や経験を持つ人がいるとの考えですか。

(深澤市長)

本市には、多くの審議会や委員会があります。団体の代表として審議会等の委員に就任される場合、その団体への推薦依頼が多ければ、一人の方が複数の審議会等に参画されるケースもあります。ただ、特定の方が多くの審議会等に就任されることのないよう、一定の目安として、一人につき最大5つの審議会等までとお示ししているところです。

知識や経験の有無に関するご意見もありましたが、様々な分野の様々な団体の方、公募者など各界各層の方から幅広くご意見をいただき、市政に参画いただくという趣旨です。

(地元意見＊)

(※注 「地元意見＊」は同一の方の発言)

今年1月から2月にかけての通学路の除雪について質問します。私は、岩倉小学校の通学路の除雪に関して、市役所に5回要請に行きました。道路課に4回、危機管理課に1回です。私の家の周りや町内の除雪をしてくれという話ではありません。私が言いたかったのは、子どもが一番集まる佐々木病院の4つ角から、たった50mほどしかない岩倉小学校までの除雪がなぜできないのかということです。教育委員会では、小学校が所有している除雪機は学校構内の除雪のために使用し、道路は除雪しないとのことでした。町内会は、あらかじめ決めている除雪箇所以外は除雪しません。土日に雪が降ったのですが、これでは月曜日を休校にした意味がないではありませんか。月曜日までに除雪し、火曜日から児童が安全に通学できるようにするのが当然だと思いますが、何度道路課に言っても、謝るばかりで具体的に何をするか全く言いませんでした。

あの豪雪の時、市長はきちんと職員に指図しましたか。私が危機管理課に行って、市としてどんな対応をしたのか、どんな仕事をしたのかと防災調整監に質問したところ、中国電力に対しては電線が切れないように、県に対しては摩尼山が孤立しそうなので除雪をお願いしますと、それぞれ電話を入れたと言っていました。こんな状態です。

鳥取市は今年2月の除雪体制を反省し、今後の除雪体制についてきちんと計画を立て、業者に対して具体的な依頼をしたのでしょうか。今年の豪雪時には、140の業者に除雪を依頼したと言っていたのに、この体たらくです。お願いしますよ。

(深澤市長)

本年2月の豪雪を教訓とし、今後は速やかに除雪できるよう改めて体制を整備したところです。今月は少し早く雪が降りましたが、国や県ともしっかり力を合わせながら除雪に努め、道路もスムーズに通行していただけたのではないかと考えています。

ただ、市道の総延長は約1,700kmあり、これを市が全て除雪することは至難の技です。鳥取では長年、生活道路等については隣同士で助け合いながら、市民の皆様に除雪していただいています。そのあたりはぜひともご理解いただき、ご協力いただきたいと思います。

市では、その後の降り方を予測し、深夜未明から体制を組んで除雪に努めています。近年は異常な降り方をしますので、十分でないところもありますが、33年振りの豪雪も一つの教訓としながら、しっかりと除雪体制を構築して除雪に努めていきたいと思っています。

通学路の除雪も、十分でないところもあると思います。これから雪のシーズンが始まり

ます。体制を整備して対応するようにしていますので、ご理解ください。

(都市整備部長)

市の除雪体制については、除雪計画の見直しを行っています。4つ角から岩倉小学校までの市道部分は従来から重点除雪路線に位置付けていますので、しっかりと除雪体制を整えて今シーズンの雪に向かいたいと考えています。ただ、岩倉地区だけではなく市内全般で、市の除雪は車道部分までであり、歩道部分の除雪までは行っていません。駅周辺など歩行者の通行量が多い路線については歩道部分も市が除雪していますが、その他の歩道部分については、地域の皆様にご協力いただいて通学路の確保に努めていただいているというのが現状です。

(地元意見＊)

除雪して通学路を確保しようと思えば、地区の皆さんに頼むなり、学校の除雪機を動かすよう指示するなり、きちんと教育委員会が動かなければならないと思いますが、全く指示も出さずにほったらかしですか。今の回答だとそういうことですね。それでは、私達が朝外に出てわざわざ歩道を除雪する意味がないではありませんか。

市道の中でも、通学路の確保が一番ではないのですか。例えば、鳥取県は岩倉の集落内に新しくできたトンネルからサンマートまでの県道の歩道部分を、朝の2時までずっと除雪しているのです。たまたまそこは通学路です。ところが市の除雪機は1台も来ず、歩道を全く除雪しない。それでも、市はきちん役目を果たしているし教育委員会は交通安全を確保しているからそれで良い、と思っているわけですね。

(都市整備部長)

本市では、総延長1,670kmの市道を管理しています。その中で、市が行う除雪に限界があるのは事実です。約1/3、延長約600kmについては除雪路線として鋭意市が除雪しており、残り2/3の歩道も含めた生活道路の除雪については、地域の皆様にお世話になっているところです。

小学校の通学路であっても、市による歩道除雪は難しい状況ですので、小型除雪機の貸与制度をご活用いただき、地域の皆様にご協力いただきたいというのが、現在の本市の考えです。

(地元意見)

私の住む岩倉新道町内会も小型除雪機の貸与を受けていますが、町内には7つの班があり、1つの班しか小型除雪機を使用できません。その班も自分達だけでは除雪しきれず、2万円ほどかけて業者も頼んだようですが、他の班は小型除雪機すら使用できません。このような状況なので、除雪機があるから大丈夫という趣旨の回答はだめです。

だめなことはだめ、できないことはできないと言えばよいのです。できているような言い方をされると心外です。

(深澤市長)

おっしゃるとおりです。私どもは、小型除雪機を貸与しているから除雪は十分だ、とは考えていません。まだまだ不十分なところは多々あると思います。市町村合併により、本市は広大な地域を有する市になりました。市がその全てを十分に除雪できるかという点、残念ながらできませんので、引き続き、市民の皆様にご協力いただきたいと思います。どうかよろしくをお願いします。

(地元意見)

私は稲葉ヶ丘に住んでいる者ですが、私が若い頃は、子どもが通る時間にはもう雪かきをして道路を開けていました。今は皆が高齢になってしまい、雪が降った時には子ども達のために雪かきをしようとも思うのですが、無理して体を壊してもいけないので、それもできずにいます。子ども達の親の世代の人は、勤めが大変です。皆が自動車通勤していますが、車道は除雪されていて自分達には問題がないからか、子どもの通学のことはあまり考えていないようです。岩倉小学校周辺では、子ども達が雪を踏み固めながら歩いているのではないかと思います。

岩倉小学校で集まりがあり、どうしたらよいか話し合いました。学校の先生にもある程度手伝ってもらうことも考えながら、通学路の利便を図っていきたいと思っています。

(深澤市長)

現在、PTAの皆さんと学校の先生と一緒に除雪されているところもありますので、改めてそういうお願いもさせていただかなければならないと思います。

高齢化や人口減少が進行している現在、地域の皆様に除雪していただくことが困難になっている面もあります。市職員数名で班を編成し、依頼を受けて高齢者宅等の除雪を行う制度もあります。我々も可能な限りいろいろな方策を考え、そして皆様のご協力もいただきながら、雪対策にしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

(地元意見*)

今、除雪に関する私の質問の間に2人が質問されましたが、私の聞きたいこととは違うのですよ。私は、道路課や教育委員会が除雪作業の役割分担などについて計画を立て、町内会長なり子ども会会長なりに連絡して指示したのか、ということが聞きたいのです。

(地区会長)

地域を代表して発言します。

先ほどからあなたの発言を聞いていますが、市役所ばかりにやれと命令するような言い方をしても仕方ありませんよ。これは地元の責任でもあるのです。だから、PTAと地区の皆さんと一緒に解決策を話し合みましょう。あなたも一緒に解決策を練りましょう。

(地元意見*)

いいですよ。私も先頭に立ってやりますよ。役割分担を決めましょうよ。

(地区会長)

よし、分かりました。皆で解決策を練りましょう。

(地元意見)

本年度、市が貸与する小型除雪機の操作講習会がありました。これは、市が規定する小型除雪機貸付要綱が改正され、貸与を受けている町内会は操作講習会を受講しなければならなくなったためです。

受講案内は、実際に貸与を受けた町内会に対してのみ通知したと思いますが、貸与を申請して順番待ちをしている町内会に対しては、通知していないと思います。今年は小型除雪機貸与の申請が多く、申請した全ての町内会へは配備できていないと聞いています。貸付要綱第15条の規定により、貸与を受けている町内会に対して他町内会から協働除雪の申し出があった場合は協働で使用できるようになりましたが、小型除雪機を貸したとしても、その町内会が操作講習会を受講していなければ、自分達で使用するできません。せめて、順番待ちの町内会には操作講習会の受講を案内すべきだったのではないのでしょうか。今からでも、順番待ちをしている町内会に受講を案内すべきです。

(都市整備部長)

今年1月と2月の大雪を受け、市内全町内会を対象にアンケートを実施し、小型除雪機貸与の希望をお聞きしました。貸与を希望された町内会に対しては、約3年かけて貸与することを考えており、今年はその1/3に当たる54機を貸与しました。残り2/3の町内会には、まだ貸与できていません。今回の操作講習会は、従来から、除雪機を貸与している町内会の皆さんに「操作者の確保が難しくなっている」とお聞きしていたため、操作ができる方を増やそうと、今年から始めたものです。

もっともなご意見だと思いますので、持ち帰り、今後の案内等も含めて検討したいと思います。

(担当課補足：道路課)

平成29年1月に鳥取県南部町で発生した小型除雪機の事故により、操作時の安全性が重要視されたため、今年度から運転講習会を開催することとしました。昨年度は豪雪の影響による小型除雪機の損傷も数多く報告されたため、講習会では、点検方法についても併せて説明しています。

今年度は、現に貸与している町内会と今年度新たに貸与した町内会に対して案内しました。今年度中の追加開催は困難ですが、来年度は、貸与希望の有無に関わらず全町内会に対して講習会の案内をする予定です。

(地元意見)

鳥取市都市計画マスタープランに、「長期未着手となっている都市計画道路については、地域住民との合意形成を図りつつ、必要性の検討を行い、都市計画道路としての存続・廃止などの整備方針を定めます」と記載されています。ここにある、「存続・廃止などの整備方針」とは、いつ頃を目途に決定する計画ですか。

(都市整備部長)

鳥取市都市計画マスタープランが示すのは、概ね30年後の将来像ですので、都市計画街路の見直しの中で方針を定めたいと考えています。前回のマスタープランの期間中にも都市計画街路の見直しを行い、一部区間の街路廃止を行った路線もあります。今後も、必要性等を精査しながら検討していきたいと思えます。

(地元意見)

今年、鳥取市総合防災マップが配布されましたが、平成26年度に改正された鳥取市地域防災計画の内容と異なっています。鳥取市地域防災計画は全面的に撤回され、今回の総合防災マップの内容に改正されたということでしょうか。

(防災調整監)

平成26年修正の鳥取市地域防災計画は今も生きており、総合防災マップは地域防災計画を基に作成しています。ただし、総合防災マップに表記されている避難所や想定浸水深等は、現時点における最新の情報を反映していますので、地域防災計画よりも新しい情報が載っています。

(地元意見)

地域防災計画によると、指定緊急避難場所である鳥取東高等学校にはグラウンドが3つあると書かれていますが、総合防災マップには第2グラウンドと第3グラウンドが表記されていません。また、北中学校グラウンドは、実際のグラウンドの場所と全く違う所に表記されています。正誤表が出るだろうと思っていたのですが、正誤表も出ません。地域防災計画を基にしているとのことですが、この総合防災マップは、全くのでたらめです。

実は以前危機管理課を訪ねて、地域の自主防災会や防災リーダーなどと話がしてみたいと言ったのですが、それは叶いませんでした。それで本日の地域づくり懇談会で発言しようと思い、3か月前に協働推進課に行って発言内容を知らせています。一度会って話をしてください。

(防災調整監)

市役所危機管理課にも何度もお越しいただいていますし、本日の質問内容についても、事前に協働推進課から詳細を聞いています。地域防災計画と総合防災マップの表記の若干の違いについてとのことですので、お会いして話をさせていただきたいと思えます。

(地元意見)

大都市では、災害時や緊急時にアマチュア無線を活用しています。市職員がクラブを結成している自治体もたくさんあります。鳥取市も中核市になるのだから、市職員の中にアマチュア無線技士を増やして、災害時に備えてはどうでしょうか。

併せて、市役所新庁舎に無線アンテナを立てられる同軸ケーブルを、今からでも設置してはどうかと思えます。

(深澤市長)

市職員の中にも、アマチュア無線の免許を所有している職員は何人かいると思います。私の友人にもアマチュア無線技士がおり、災害時には非常に活躍されています。

9月10日の鳥取市防災の日に実施している総合防災訓練でも、アマチュア無線技士に参画いただいていますので、今後もよろしくお願ひしたいと思います。

新庁舎への同軸ケーブルの設置等については、これから新庁舎の具体的な建設にかかる中で検討したいと思います。

(地元意見)

分かりました。私は、一般社団法人日本アマチュア無線連盟の鳥取県支部長をしています。災害防止協定を締結してもよいと考えていますので、何かあれば声をかけてください。

(深澤市長)

ありがとうございます。またいろいろお世話になりますが、よろしくお願ひします。

(担当課補足：危機管理課)

鳥取市地域防災計画では、鳥取アマチュア無線赤十字奉仕団等に、市災害対策本部（支部）へのアマチュア無線局の臨時設置による被害情報収集及び災害広報の支援を依頼することとしています。

そのため、毎年実施する総合防災訓練へも参加していただいているところです。

新庁舎への同軸ケーブルの設置については、アマチュア無線局の臨時設置時に速やかな情報伝達を行えるよう、整備について具体的な検討を進めています。

(地元意見)

この周辺でも新しい商業施設等が建設されていますが、市内に新しい建物を建てる時に、その土を山間部に運搬して廃棄しています。すると、運搬された土からブタクサが生えてきます。土の運搬は正式に許可を得て行っていることなのでしょうが、運搬先に住んでいる人のことを考えてほしいです。対処は全然考えないのですか。

(深澤市長)

基本的には、運搬先の土地所有者にしっかり管理していただくことが必要ではないかと思います。それが難しいということであれば、市から所有者に適正な管理をお願いすることは方法としてあるかと思いますが、全ての草について市が対応することは、なかなか困難ではないかと判断しています。

(地元意見)

先日、水道料金の値上げに関する説明会がありました。その時に集まった住民は、たった6人です。市職員は8名でした。来年の春に市長選挙があります。選挙活動の中で堂々と「私が当選したら水道料金を値上げします」と訴えて、その後に議会を通してもよかったですのではないかと思います。市長選前の、しかも市民が誰も知らないうちに議会を通し、

値上げしました。アリバイ作りのような説明会だったと思います。

市長選の前に値上げを決めた理由は何ですか。

(深澤市長)

市長選挙があるから、その前に改定したということではありません。

鳥取市の水道は、大正4年に、当時の市の年間予算の5倍の経費をかけ、将来に備えて整備したものです。今回の説明会は、これから水道施設を維持管理していくにも多額の経費が必要となる中、その一部について市民の皆様にご負担いただく必要があることを、数字をもってご説明し、ご理解いただくために開催したものです。市長選挙の時期にかかわらず、必要な時に必要な説明をして、ご理解やご判断をいただくことが肝要と考えています。

(地元意見)

12月12日に、市役所下水道企画課と岩倉稲葉ヶ丘町内会の住民が、長年の課題だった町内の冠水について協議しました。町内は、大雨が降るとすぐに浸かります。協議の結果、我々が願ってきた完全な対応策が発表されました。平成30年度の事業計画に挙げるということも確認しました。これから市長にも話がいくと思いますので、この事について確認していただくよう、お願いしておきます。

(深澤市長)

はい、分かりました。この事業については、今年度すでに設計業務を進めていますので、必要な事業ということで、できる限り速やかに進めたいと思います。

(地元意見)

市長は、「気軽に市に相談してください」と言いますが、市役所の受付に行けば担当課に話を繋いでもらえるということでしょうか。

(深澤市長)

市役所本庁舎及び駅南庁舎の1階に、市民総合相談課があります。総合案内にお越しただければ、話の内容をお伺いした上で、担当課を案内します。また、電話等によるご相談でも結構です。お気軽に、ご意見等をお寄せください。

5 市長あいさつ

一言お礼のご挨拶を申し上げます。今年度最後の地域づくり懇談会を、岩倉地区で開催させていただきました。非常に限られた時間の中、活発な意見交換をさせていただいたことに、まずもって心から感謝申し上げます。ご発言をいただけなかった方もたくさんいらっしゃると思いますが、地域づくり懇談会とは別に、またお気軽にご意見やご質問をお寄せいただければと思います。

除雪に関するご意見や、水道料金の値上げに関するご意見等をいただきました。これから人口減少や少子高齢化が進行し、厳しい状況になると思います。そういった中であって、市民の皆様と市役所が一緒になって将来を切り開いていくことが、今後ますます大切なな

ってくると思います。我々だけでは十分に行き届かないことも多々あると思いますが、そのあたりは引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

大変熱心にご参加いただいたことに重ねて感謝申し上げ、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。本日は、ありがとうございました。